

## 振り込め詐欺防止機能付き録音機の無償配布：美祢市の取り組み

辻 龍雄

日本セーフティプロモーション学会

### Free Distribution of Wire-Fraud Prevention Recorder to the Elderly Living Alone : Mine Program

Tatsuo Tsuji

Japanese Association for Safety Promotion

キーワード：防犯CSR、うそ電話詐欺、振り込め詐欺、特殊詐欺、美祢市

#### はじめに

高齢者をねらった振り込め詐欺対策として様々な防犯活動が展開されている。その中の一つに、電話機に取り付ける振り込め詐欺防止機能付き自動録音装置がある。山口県美祢市では、医師会・歯科医師会・薬剤師会を中心とした防犯CSR (Corporative Social Responsibility) 活動の一環として、65歳以上の独居高齢者約1,400人の全世帯に、装置を無償で配布する活動を行ってきたので、その活動の概要を紹介する。

#### 活動の内容と経緯

##### 1. 山口県美祢市の概要と被害状況

山口県中央の標高約100mの山間部に位置する。2020年1月1日現在の人口は23,884人（世帯数9,718）<sup>1)</sup>、65歳以上の人口比率は、全国平均28.9%に対して41.5%と高齢者が多い地域である<sup>2)</sup>。秋芳梨、厚保栗、美東ゴボウなどの農産物が有名で、観光地としては、カルスト台地の秋吉台、鍾乳洞の秋芳洞が全国的に知られている<sup>3)</sup>。

山口県における2019年1月から10月末までのうそ電話詐欺（特殊詐欺）の被害件数は52件、被害額は1億9,898万円、そのうち美祢市における被害は1件300万円であった。

なお、美祢市における2018年中の被害は1件約960万円であった。

##### 2. 配布装置および対象者

美祢市には、独居高齢者世帯が1,366世帯あり（2019年4月現在）、その全世帯に振り込め詐欺防止機能付き録音装置（山口美祢うそ電話詐欺ストッパー）を設置することを目標とした。

この録音装置は、本体とマイクの部分があり、本体部分を家庭用電話機の受話器の背面に、マイク部分を受話部分の近くに張り付ける。着信すると、「振り込め詐欺防止のため、通話内容を録音します」というメッセージが流れ、その後5分間自動録音され、録音容量を超える

と、以前の録音に上書き録音されていくという機能も持っている。価格は1台500円（税別）と非常に廉価であり、取り付けも容易であることから、多世帯への普及に適している。



写真1. 録音機の説明書

##### 3. 活動の経緯

山口県警察は、防犯企業や団体が取り組むCSR (Corporative Social Responsibility) 活動のひとつとして、防犯を目的としたCSR活動の普及を推進している<sup>4)</sup>。そして、美祢警察署は、その一環として、美祢市の医療関係者のCSR活動によって市の独居高齢者全世帯約1,400世帯に振り込め詐欺防止機能付き録音装置を配備できないかと考えた。

美祢警察署から、まず最初に相談を受けたのは美祢歯科医師会で、2019年4月に、三師会（美祢市医師会、美祢郡医師会、美祢歯科医師会、美祢薬剤師会）が主体となって寄付を募り、装置を購入して配布するという全国初の防犯CSR活動ができないだろうかという打診があった。その翌日、歯科医師会から各団体の会長へ電話で概要を説明し、警察署長との面談へと進展した。

2019年4月～5月に開催された美祢歯科医師会、美祢

郡医師会、美祢市医師会、美祢薬剤師会の各定例総会において、この活動内容が承認され取り組みが始まった。

この活動の中心は、美祢市医師会に事務局を設置し、必要な経費は約80万円と見積もられた。三師会は寄付団体ではないため、三師会だけでは経費を捻出できなかったため、2019年9月に、三師会と美祢市防犯対策協議会、美祢警察署、社会福祉法人美祢市社会福祉協議会が発起人となって、美祢市内の事業者と団体へ「うそ電話詐欺被害防止グッズを活用した防犯活動への協賛のお願いについて」という文書を送付し協賛を依頼した。協賛金の金額は一口5千円とし、美祢市医師会の口座へ振り込んで頂いた。最終的に40の事業所・団体から協賛を得ることができた。

2019年10月29日に、美祢警察署において、三師会から美祢市防犯対策協議会長である美祢市長へ装置の贈呈式が行われた。



うそ電話詐欺被害防止機器「山口美祢うそ電話詐欺ストッパー」贈呈式

写真2. 美祢市報「げんき みね」  
No.189表紙 2019年12月号

(向かって左から社会福祉法人美祢市社会福祉協議会、美祢警察署協議会、美祢警察署、美祢市、美祢市医師会、美祢歯科医師会、美祢薬剤師会の各代表)

2019年11月7日に東京で開催された全国防犯CSR推進会議主催のCSRセミナー／「企業価値を高める防犯CSRとESG経営」において、美祢市ふるさと交流大使入山アキ子さんとともに参加し、事例報告を行った<sup>5)</sup>。

2019年11月15日、美祢警察署において、全国防犯CSR推進協議会による防犯マイスターの表彰式が行われ、個

人では、美祢市ふるさと交流大使入山アキ子さん、団体では(一社)美祢市医師会、(一社)美祢郡医師会、(一社)美祢歯科医師会、美祢薬剤師会、美祢市商工会青年部、社会福祉法人美祢市社会福祉協議会の6団体が表彰された。表彰式の後、一日警察署長委嘱式が行われ美祢市ふるさと交流大使入山アキ子さんが一日警察署長に委嘱され、市内の商業施設においてうそ電話詐欺被害防止の街頭活動を行った。

2019年11月から、美祢警察署員、うそ電話詐欺防止戸別訪問隊等の防犯ボランティア、美祢市防犯対策協議会職員によって、2019年度末を目途に装置の全戸配布と取



写真3. 防犯CSR表彰式

向かって左から全国防犯CSR推進会議事務局長、美祢市医師会長、美祢歯科医師会長、美祢市社会福祉協議会長、美祢市商工会青年部代表、美祢市ふるさと交流大使入山アキ子様、美祢警察署協議会長、美祢警察署長



写真4. 振り込め詐欺防止活動は、わかりやすい四コマ漫画に複数枚描かれ、美祢市報「げんき みね」と美祢市社会福祉協議会の広報誌「みねし社協だより」に掲載された。

り付けが進められている。

## 考察

人口約2万4千人の美祢市には、65歳以上の独居高齢者が1,366人暮らしている。2017年の高齢化率の調査では、2.5人に1人が65歳以上であった。山間部の小さな街では生活の糧を得るための仕事は少なく、成人すると大半の子は働く場所を求めて都市部で暮らようになる。子は親元を離れ、親は歳月の流れとともにやがて伴侶を失い、独居者となっていく。近年の詐欺グループは、都市部から地方に居住する高齢者へターゲットを変えている。その中で、独居高齢者は格好のターゲットであり、離れて暮らす子への思いに付け込むような振り込め詐欺が多発し、このような詐欺事件が、山間部においても、ごく身近に起きる時代となった。

今回の活動の中心となった美祢市医師会の原田菊夫会長は贈呈式のマスコミのインタビューに対して「お年寄りの病気を治す以外にも役立ちたいと思いき事務局を立ち上げた。地域全体でお年寄りを守っていきたい」と決意を述べている。

振り込め詐欺被害の防止には、予防啓発活動が重要となるが、犯罪防止活動についての行政や警察の予算は十分とはいえない。企業や団体が、環境保全、社会福祉、防災などの社会活動に参画することをCSR活動(Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任)と呼ぶ。企業や団体にとっても、社会活動に貢献することで、イメージアップにつながる。このCSR活動が防犯の分野でも応用されるようになってきた。

日本でCSRの考え方が紹介されたのは、2003年の経済同友会の第15回企業白書とされ、さらに、防犯に特化した防犯CSR活動は2010年の警察庁による「犯罪の起きにくい社会づくり」推進活動が発端といわれている<sup>6)</sup>。日本での歴史は10年足らずであり、防犯CSR活動についての社会の認知度はいまだ十分とはいえない。しかしながら、警察庁の後援を受けた全国防犯CSR推進会議<sup>7)</sup>の啓発活動によって、多くの企業・団体が活動に参加し、全国的な拡がりをみせている。

防犯CSR活動の具体例について、山口県警ホームページ<sup>4)</sup>から紹介すると、1) スーパーマーケットの移動販売車による訪問販売に際して子どもの見守り活動やうそ電話詐欺の広報活動、2) 販売員による家庭や事業所での訪問販売の際に、防犯記事が掲載された商品紹介チラシの配布、被害防止の声掛け、3) 交差点に取り付ける防犯カメラの寄贈、4) 賃貸アパート経営会社では入居者への被害防止やうそ電話詐欺への注意喚起の啓発チラシの配布、5) 防犯ボランティアが活動の際に着用する防犯ベストの寄贈、等々が行われている。

美祢市の今回の防犯CSR活動では医師会、歯科医師会、薬剤師会が中心となり、美祢市内の事業者が録音機を購入して贈呈した。医療従事者の日常業務は、それ自

体が地域社会の福祉へとつながるものである。医療人が地域社会に貢献したいという意思は古くからある。西暦454年頃の中国六朝時代の文章に「上医医国、中医医民、小医医病」という言葉が記されている。その意味は「上医は国をいやし、中医は民をいやし、小医は病を医いやす」。病だけを治すのは小医であり、志のあるものは病だけでなく、地域の人々、さらには国をいやせと述べている。この言葉は今日でも医学教育において耳にする。前述の美祢市医師会長の「病気を治すだけでなく、地域のお年寄りを守りたい」という発言は、まさに、この体现であろう。こうした倫理観と、医療機関の地域の様々な事業所や団体との関連性が、今回の協賛金の呼びかけに多数の事業所が賛同され、短期間のうちにご協力頂いた背景にあると思われる。

## 結語

三師会(医師会、歯科医師会、薬剤師会)には、地域に貢献したいという志向がある。三師会は、ある種の公益性を感じさせ、行政、企業、団体の協力を得やすい。こうした資質から、日本各地の防犯CSR活動の起点となる有用性があると考えられる。

## 引用文献

- 1) 山口県人口移動統計調査. <https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a12500/jinko/jinko.html> 2020年2月9日アクセス.
- 2) 美祢市の人口と世帯 高齢化率の推移. <https://jp.gdfreak.com/public/detail/jp010050000001035213/2> 2020年2月9日アクセス.
- 3) 美祢市ホームページ. <http://www2.city.mine.lg.jp/www/toppage/000000000000/APM03000.html> 2020年2月9日アクセス.
- 4) 山口県警察本部ホームページ. 防犯CSR活動について. [https://www.police.pref.yamaguchi.lg.jp/kurashi/page\\_b001\\_000022.html](https://www.police.pref.yamaguchi.lg.jp/kurashi/page_b001_000022.html) 2020年2月11日アクセス.
- 5) 全国防犯CSR推進会議主催のCSRセミナー／「企業価値を高める防犯CSRとESG経営」 [https://www.safety-nippon.jp/news/20191107\\_seminar.pdf](https://www.safety-nippon.jp/news/20191107_seminar.pdf) 2020年2月16日アクセス.
- 6) 藤井良広. 機能する企業の社会的責任論への一考察：「防犯CSR」というコンセプトと企業行動(特集 上智大学大学院 地球環境学研究科10周年) — (地球環境学研究科での研究と活動). 第5部：地球環境学研究科での研究と活動. 地球環境学(11)、195-208、2015.
- 7) 全国防犯CSR推進会議. <https://safety-nippon.jp/conference/purport.html> 2020年2月16日アクセス.